

環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 28 2011年10月1日 発行



平成23年度総会が開催されました!

県環境県民フォーラムの平成23年度の総会が開催されました。総会では、昨年度の事業報告の後、10人委員会委員等の改選と本年度の事業計画・予算が承認されました。その後、奈良県環境政策課から新奈良県環境総合計画(改訂版)についての説明があり、今後5年間に県が取り組む環境施策が紹介されました。施策の一つには、「参加と協働による環境保全への取組み」が挙げられており、15年目を迎える環境県民フォーラムの活動がますます重要となっていることがうかがえます。

去る4月19日、奈良県文化会館で奈良

総会后、近畿大学総合社会学部の久隆浩教授をお招きし、「環境づくりの環を広げる」と題して記念講演をしていただきました。とくに地域で環境活動する際の重要なヒントをいくつも教えていただきました。「行事を企画しても、やって来るのはいつもと同じ人ばかり」に対しては、「福祉や教育など異分野の行事にこちらから参加してはどうか」とのお答えでした。待つのではなく、こちらから積極的に異分野で活動する人たちへアプローチし、環境活動と交流の輪を広げることの必要性や、環境活動のセールスマンになることの心得を教えていただきました。また、異業種間交流は、環境活動をする際の新たな視点と活動仲間を広げるビッグチャンスだということも教えていただきました。確かに、「環境」という言葉に新鮮さを感じない人たちが増えているのは事実のようです。環境問題については、学校で学習したり新聞やテレビで見聞きしていることから、「環境」という冠がついた活動に参加する人が少なくなったのも、仕方がないことかもしれません。そうであるなら、「環境といわない環境活動」をしてはどうか、というご提案には納得しました。たとえば災害時に役立つキャンプ学習のなかで、「環境」にかなった実践を学び、それを参加者と共有することも可能だという久先生のお話には首肯しました。



さらに、地域の町内会や自治会活動と連携したり、まちづくり協議会など各種委員会や会議に積極的に参加して意見を述べたり、あるいは委員の人たちに環境活動への参加を強く促したりすることも、効果的だというお話がありました。そして、何とんでも「思いやりの心が大切」で、自分の意見は押しつけない、相手の話をよく聴く、という姿勢が必要であることも強調されました。

そのほか、ネットワーク活動では、短期的に効果を発揮させるには活動を仕切るリーダーの存在は大きく、長続きさせるには互いが気づき促し合うファシリテーターの存在が大きいこと、また自律性を高めるには自ら定めた「目標」に向かって努力を積み重ねることが大事であることを教えていただきました。

(環境市民ネットワーク天理 佐藤・事務局 折口)

エコな～らライフ宣言募集しています。

今年は4月1日より、エコな～らライフ宣言を募集しています。現在の宣言数は20,728な～ら(9月21日現在)。20本の樹木を植樹できます。今年の植樹バスツアーも野外活動センター(奈良市都祁吐山町)で予定しています。宣言の締切は10月20日。まだ宣言されていない方は、是非宣言し、バスツアーに参加しましょう。

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)から宣言



奈良県における節電対策とその成果について

3月11日に発生した東日本大震災に伴い、東北電力・東京電力管内地域は、原子力発電所の停止などにより電力供給が大幅に減少しました。関西地域においても、定期点検中であった原子力発電所の再起動が延期となり、今夏の電力不足が危惧されたのはご存じのとおりです。関西でも、供給力不足による大規模停電を避けるために、各種方策の検討が必要となりました。

そこで、奈良県においては、去る6月22日に荒井知事と関西電力八木社長とが面談し、7～9月の県内のピーク時の電力について、前年度同期比で10%超の削減を目指すことを合意しました。また、その目標の達成へ向け、奈良県と関西電力、県内の関係者からなる「奈良県節電協議会」を7月8日に設立し、県域における実効性と広がりのある節電の取組みを進めてまいりました。(なお、関西で節電協議会という形をとったのは、奈良県だけです。)

奈良県節電協議会設立 平成23年7月8日(金)

<目的>

奈良県と関西電力(株)が中心となり、県内各種団体の参加を得て、協議会を設置し、県下全域への広がり実効性のある節電対策を推進する。

<活動内容>

- ① 奈良県における節電方針と節電対策メニューの協議
- ② 構成団体を通じた、具体的な節電対策メニューの県下全域への周知
- ③ 節電意識醸成のための啓発

<組織>

会長 知事

構成員 関西電力常務、奈良支店長、市長会の代表、町村会の代表、鉄道会社、消費者代表、学識経験者、各種業界の代表、県景観・環境局長、県産業・雇用振興部長

家族構成や生活パターンに応じて無理のない協力をお願いします。

日中は、在宅し、より多くの取組みに参加できる世帯は

▶ **在宅A世帯** 待機電力の削減や照明の消灯の他、特にエアコンの設定温度(28℃)の変更をお願いします。

日中は、在宅し、高齢者や病人がいる世帯は

▶ **在宅B世帯** 照明やテレビの節電をメインに、すだれ等を活用しながら、冷房は必要な時間に、必要な温度で使用してください。

日中は、在宅していない世帯は

▶ **非在宅型** 待機電力の削減と冷蔵庫の設定変更をお願いします。

節電協議会は、7月8日に第一回協議会を開催し、家庭部門、業務部門、産業部門ごとの節電メニューの提案を行いました。8月1日には第二回協議会を開催し、効果の途中検証を行いました。また、節電を呼びかける啓発活動として、街頭啓発、県政テレビ放送、ラジオ放送、新聞広告、節電セミナーの開催などを行いました。

皆様に一番身近な家庭部門の節電メニューですが、対象世帯を家族構成や生活パターンに応じて、在宅A世帯、在宅B世帯、非在宅型の3グループに分け、それぞれが、無理のない範囲で節電を取り組んでもらえるように配慮しました。

対象世帯			取組み対象	取組内容
在宅A	在宅B	非在宅	待機電力	リモコンの電源ではなく本体の主電源を切る。
在宅A	在宅B	非在宅	冷蔵庫	設定を「強」から「中」にする。
在宅A	在宅B		照明	日中は照明を消す。
在宅A	在宅B		テレビ	ながら見をやめる。省エネモードにし輝度を下げる。
在宅A	在宅B		炊飯器	朝に炊いて日中は保温をやめる。
	在宅B		エアコン	設定温度を2℃あげて28℃にする。
	在宅B		外出	外出しエアコン等電気機器を使わない。

これら県域全体での節電の成果としては、7月から9月までのピーク時の電力が前年度比12%の削減(関西電力全体では同10%)となり、奈良県の目標であった10%超を達成できました。

なお、節電の取組みについては、今夏に限らず継続的に取り組んでいきます。今後も今夏の節電の取組みと成果を参考にしながら、日常生活の一環として取り組める節電スタイルの普及を進めていく予定です。

(事務局 酒井)



節電を呼びかける街頭啓発の様子

エネルギー分科会

23年度の分科会活動計画

エネルギー分科会の活動として、8月7日(日)に奈良市教育センターにおいて親子エネルギー工作教室を開催しました。小学2、3年生の親子37組に参加いただき、温暖化防止のお話のあとソーラーモーターカーを組み立て、太陽電池の働きについて学んでいただきました。当日は天気もよく、ソーラーカーも勢いよく動き、子供たちも楽しんでいました。

またエネルギー分科会では、環境県民フォーラムの全体事業である「エコな～らライフ宣言」を担当しています。皆様もご家庭で省エネ行動の中から自分でできるものを選んで、「エコな～らライフ宣言」への参加をよろしくお願ひします。宣言いただいたものは集計し、1000な～らで1本の苗木を植樹しています。今年も11月に野外活動センターにおいて、植樹イベントを計画しています。

そして、1月頃には、環境にやさしいエコライフの提案と推進を目的に「鍋帽子を使ったエコクッキング」を開催する予定です。今後の行事については日程が決まり次第、別途ご案内をいたしますので多数のご参加をよろしくお願ひします。

(関西電力奈良支店 北)

自然環境分科会

自然環境セミナーの開催 ～タンポポが私たちに教えてくれること～

平成23年4月23日(土)、天理市文化センターで、奈良県環境県民フォーラム自然環境分科会主催の「平成23年度自然環境セミナー」が開催されました。

2010年春に実施された西日本19府県の市民によるタンポポ調査「タンポポ調査・西日本2010」に奈良県も参加しました。その調査結果の報告に合わせて、我が国のタンポポ研究の第一人者である東京学芸大学教授の小川潔氏に講演をしていただきました。先生が長年タンポポと関わってこられた経験を元にされた楽しく興味深いお話に貴重な時間が流れました。特に最後のお話が印象的で、次のように述べられました。「タンポポの分類の研究を通して、自然のドラマを目の当たりに展開してくれると考えると、とてもいきいきとした分野だと思えてきます。それを進める原動力に市民による自然調査が大きき力となってきました。近年のDNAによる種の同定技術の進歩もあり、それを生かして自然のドラマとして翻訳して脚本として示すのは研究者の役目でしょう。生き物の姿をずっと見続ける視点が重要だと思っています。」

当日は、タンポポ調査に参加された方々の他、多数の一般市民約80名が来場され、中には滋賀県からこの日のために親子で駆けつけ、熱心に耳を傾けられる姿もありました。

(自然観察指導員奈良連絡会 久保田)



エコライフ分科会

23年度の分科会活動計画

エコライフ分科会での今年の「川の教室」は、7月18日に御所市の葛城川で、摂南大学のご協力によってE-ボートからの川岸調査も実施しました。参加者は子供11名と大人35名でした。が、当日はあいにくの大雨で、あたかも水難訓練の様子でした。「環境を知ること」について、そのタイミングの重要性をつくづくと感じた次第です。

また、エコライフ分科会では、今年度の試みとして、『水辺のすこやかさ調査』(正式には、環境省の水環境健全性調査)を実施しています。これは、単に水質や生物の調査だけではなく、歴史・文化も含めた多角的な環境価値の発見という、非常にハードルの高い調査です。今回、300名を超える方々の協力で大和盆地のいろいろでの調査を実施していただき、現在、集計中です。今年、ハードルを越えるのではなく、ハードルの下を通る予定でまとめて、環境フェアで成果発表する予定です。

当分科会としては、将来の快適環境に向けた地道な一歩を進めたらと思っています。皆様のご支援をよろしくお願ひします。

(奈良環境カウンセラー協会 吉田)

資源活用分科会

エコ見学会の開催

資源活用分科会では平成23年度事業として「県下の市町村収集ごみリサイクル実態の把握及び自己啓発」に取り組む予定です。この取り組みの一つとして、7月15日に南和広域美化センターを見学しました。

同センターは大淀町、高取町、黒滝村、天川村の2町2村で構成される南和広域衛生組合が運営しています。平成4年7月に着工、平成6年4月より操業し、現在に至っています。現在のリサイクル社会の設立も視野に入れつつ、当時としては先進のごみ焼却処理施設であった、ごみを破砕してから流動砂とともに安定高温化(800~900℃)で完全燃焼させ、ダイオキシン類の発生が比較的少ない施設です。

施設の案内をしてくださった瀧谷さんのお話では、ごみ処理行政の直近の課題として、現在の施設の耐用年数や地元との契約期間及び操業可能期間が平成33年3月までとなっているため、今後さらに、広域市町村でごみ焼却施設の建設及び処理計画の検討に取り組む、新施設の建設場所を探る必要があるとのことでした。

今回の見学を終えて、ごみの排出減量化に向けて、「もったいない」意識を持ち、1.大切に長く使う 2.過剰包装は断る 3.資源ごみはきちんときれいに分別する 4.マイバッグ利用を広める ことが必要であると感じました。



(学園大和生活学校 木内)

イベント情報

第14回 奈良県環境フェア

日時：平成23年11月5日（土）

場所：東大寺総合文化センター（奈良市水門町100）

内容：環境講演会（講師：東大寺長老 森本公誠氏）、ルー大柴の環境トークショー、環境保全活動・環境関連製品のブース展示、小中学校環境取組発表会、自転車発電・自然工作等体験コーナー、クイズラリー等

問い合わせ先：第14回奈良県環境フェア実行委員会

（奈良県環境政策課内：0742-27-8732）



自然体験教室～落ち葉感謝デー～

① 宇陀会場

日時：11月27日（土）10:30～14:30

場所：冒険遊び場「ひーとびーとの森」（宇陀市榛原区八滝）

内容：ネイチャーゲーム、焼き芋&芋煮なべ など

参加費：500円

（保険代、材料費、施設利用料。未就学児無料）

対象：小学生とその家族または指導者

定員：約30名

② 桜井会場

日時：12月4日（日）10:00～15:00

場所：等彌神社～彩雲ひろば（桜井市桜井～外山）

内容：リース作り・落ち葉を集めて焼き芋&天ぷらパーティー等

参加費：500円

（保険代、材料費。未就学児無料）

対象：小学生とその家族または指導者

定員：約30名

連絡先：090-1913-5382 森本・090-2380-0383 西田

申込み：①②ともにFAXまたはメールで住所・氏名（ふりがな）・電話番号・参加希望会場を事務局（下記）へ。

問合せ：奈良県環境政策課

TEL:0742-27-8732/FAX:0742-22-1668

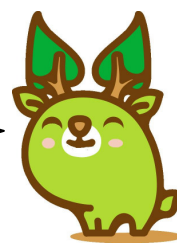
E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

URL:<http://www.eco.pref.nara.lg.jp/>



新入会員の紹介

新入会員として
野村興産株式会社ヤマト環境センター
をお迎えしました。



賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネクッキングなど）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

大和の国・菜の花エコプロジェクト

菜の花だより 菜の花から つながる・広がる！人の輪・循環の輪！

大和の国・菜の花エコプロジェクトも6巡目が始まろうとしています。皆さんもお好きなフィールドにぜひご参加ください。

奈良フィールド(北永井7a、佐保山7a) NPO 法人宙塾 Email: ohzorajuku@gmail.com FAX: 0742-24-2258

- ・4月17日 北永井フィールドで菜の花まつりを行いました。菜の花観察、菜種油による菜の花や野草の天ぷら、北永井町自警団による焼きそば提供、太陽熱などエネルギーの学習・実験、手作りゲームと同時に、森林学習として皮むき体験・展示ルーム見学など、豊富なメニューに参加者は大満足でした。ナルク奈良の協力を受けて、間伐材を利用した環境学習ステーションの整備を行うことができたため実現しました。
- ・奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)として、東市小学校が興福寺に、六条幼稚園が薬師寺に菜種油を灯明油として奉納。さらに同幼稚園は東大寺へ、鼓阪北小学校は春日大社と東大寺への奉納が予定されています。鼓阪小学校も今年菜の花を植えます。NASOの活動として富雄北幼稚園の菜の花PJも支援しました。



環境学習ステーション完成式(北永井菜の花祭り)



油搾り体験の様子



世界遺産学習として菜種油奉納(興福寺)

田原本フィールド 10a NPO 法人ほっとねっと TEL・FAX:0742-94-6800

5月14日、4回目の菜の花まつりを磯城野高校で開催しました。まず始めは、高校で実習用に飼われているヤギなど動物とふれあいタイム。次が菜種油を使った料理の試食。昨年の搾油量が少なかったため、今回は御所市の「菜の花ぷろじェくと」から菜種油を1本分けていただき、野草天ぷら、米粉ドーナツ、鶏肉を揚げて出すと、いっぺんになくなりました。その後、コープ自然派によるナタネの「遺伝子組み換え実験」の実演と解説。私たちが栽培したナタネや、県内の他の場所から採取したナタネからは「遺伝子組み換え」のものは見つかりませんでした。輸出食材が陸揚げされる港付近や、流通経路の道路端からは遺伝子組み換えの植物が見つかるといいます。そんな説明に参加者一同興味津々で聞き入っていました。その後、5月末に刈り取りをし、高校で干し、6月9日に田原本北小学校で脱穀作業を行いました。刈り取り後、今夏の畑の使い道は3分の2を水田に、残りを雑穀・アマランダス、大豆の栽培と、県特産品である葛の他の作物を荒らさずに量産する試験栽培を始めました。



遺伝子組み換え実験(磯城野高校にて)



脱穀(田原本北小)



田んぼの様子

天理フィールド(樺本町2a)環境市民ネットワーク天理 事務局長:中島 欣成 電話 090-3487-9556

前年の天理市竹之内町における菜種の連作障害を避けるために、平成 22 年は市内樺本町の私有地を使って栽培をしました。ポット苗を 10 月に植え付け、平成 23 年 6 月 3 日に刈り取り、同月 25 日に脱穀しました。その結果、約 20kg の収穫量がありました。竹ノ内町とほぼ同じ 1 アール程度の面積でしたので大豊作と言えます。苗の植え付け、除草、刈り取りから脱穀まで、人力だけの作業で大変でしたが、今までにない豊作でやり甲斐がありました。次年度は、天理教関係の皆様が大規模の栽培をされる予定で、市内での栽培面積が増えそうです。



開花しはじめた樺本フィールド 4/17



刈り取り作業 今までの 2 倍の時間が 6/3



脱穀作業 蒸し風呂のような暑さの中で 6/25

桜井フィールド 200a NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト Email: hideko.nishida@gmail.com FAX :0744-41-0317

毎年 4 月開催の「菜の花まつり」は、今年から桜と菜の花の「花・花フェスタ」とし、400 名以上の参加者で、狛・岩坂の里が活気にあふれた一日となり、地元の方にもこのイベントが歓迎されるようになってきました。

高家の菜の花は、写真の様に素晴らしい出来栄であったので、草取りをせずに収穫できると油断した為、花が終わったとたん草が勝ってしまい、全く収穫できませんでした。農業の難しさを思い知らされました。来年は、菜種油の新製品を考えているので、年間計画に沿って菜種栽培を実施しようと思います。

陶磁器のリサイクル事業は順調です。ただいま行政との協働について、話し合い中です！



高家の菜の花



「花・花フェスタ」和太鼓



バイオディーゼルカーの説明

御所フィールド(蛇穴8a、九品寺 30a)管理:未来の環境を考える会 市環境政策課 TEL:0745-66-1087

神話の道ともいわれる「葛城の道」にある九品寺フィールドでは、今年も見事な菜の花を咲かせました。しかし、残念ながら菜の花まつりは雨天のため中止になりました。もう一方の蛇穴(さらぎ)フィールドは最近縄文時代の遺跡などでいろいろ話題になっている場所でもあります。悠久の歴史を感じさせる両フィールドで、計 150kg の菜種が収穫できました。今後は菜の花を軸にして学校教育の中での環境教育も推し進めたいと思っております。



九品寺の風景



九品寺の風景



蛇穴(さらぎ)の刈り取り